



【トキの親子】

※顔の赤い羽が親鳥です。

新潟県トキ保護募金推進委員会は、次の3つを目的に募金を行っています。

- ①**佐渡での野生復帰に向けた取組を支援**：トキを野生に戻す場合、問題となるのは生息環境です。日本各地で取り組み始められている「循環型社会」を佐渡島で創り出し、様々な生物が暮らせる生態系を取り戻せれば、その中でトキも生きていけるでしょう。トキ保護募金は、このような野生復帰に向けた取組を支援していきます。
- ②**生息環境の復元**：佐渡では、トキの野生復帰に向けて、ボランティアによる餌場の復元やビオトープ作り、里山の保全活動、環境保全型農業への取組、小中学校での環境教育等が始まっています。住民参加型のこのような試みを私たちは支援していきます。
- ③**中国への支援**：トキという種を存続させるためには、核となる中国のトキを守らねばなりません。繁殖が軌道に乗った中国でも生息環境の悪化が進んでおり、トキの将来にはまだまだ不安があります。

トキが暮らせる環境は、私たちに本当の豊かさをもたらすものです。それは、行政だけでなく、一般市民の皆さん、様々なNPO、研究者の方々など、たくさんの人々の関わりがなければ実現不可能です。

健全な生態系を取り戻し、トキを再び野生に定着させるために、トキ保護募金にぜひご協力ください。

新潟県トキ保護募金推進委員会

新潟県トキ保護募金推進委員会（事務局：新潟県県民生活・環境部環境企画課）

〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1

電話：025-280-5152

FAX：025-280-5166

佐渡では今、集落、NPO、学校、大学、行政などが連携・協働してトキの野生復帰に向けた様々な取り組みが行われています。



環境にやさしい米づくり

餌場づくり

地元のNPOや集落等で休耕田をトキの餌場としてビオトープに造成したり、環境にやさしい無農薬、減農薬の米づくりや、冬にも水田に水を張る冬期湛水等の取り組みが広がっています。また島外からのボランティアや消費者を受け入れた体験作業等も行われ、島内外の交流も広がっています。



自然な川の再生

エサ生物の生息環境の復元

トキのエサ生物の住みやすい環境を再生するため、川では、エサとなる生き物が移動しやすいように落差を解消したり、自然な川岸の再生などを、水田では、水路と水田をつなぐ魚道の設置や、エサとなる生き物が生息できるような江を造成するなどの環境整備を進めています。



トキの学習会

環境教育の推進

大学によるエサ生物の生息状況・営巣地の環境等の状況に関する調査や、これからの活動に向けた調査・研究が行われています。また、地元小中学校や島外からの修学旅行生による、トキの学習会や餌場づくり、エサとなる生き物の調査等の環境教育も進められています。